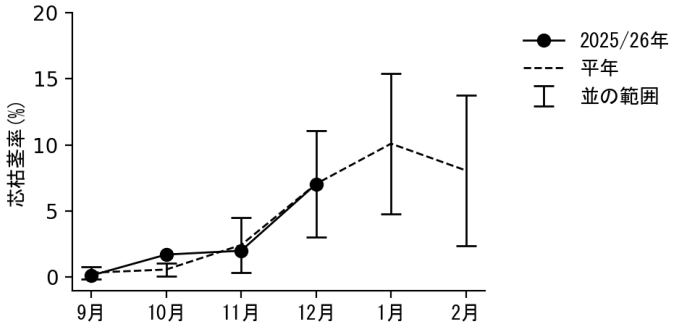
令和　7 年度　　1 月予報

| 作物 | さとうきび | | 地域 | 八重山群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① メイチュウ類（カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ） | | | |
| 調査結果 | 12 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| 予　報 | 12 月からの増減傾向 | ↗ | | |
| | 1 月の発生量（平年比） | 並 | | |
| 予報の根拠 | | 平年の発生量の推移（↗） | | |

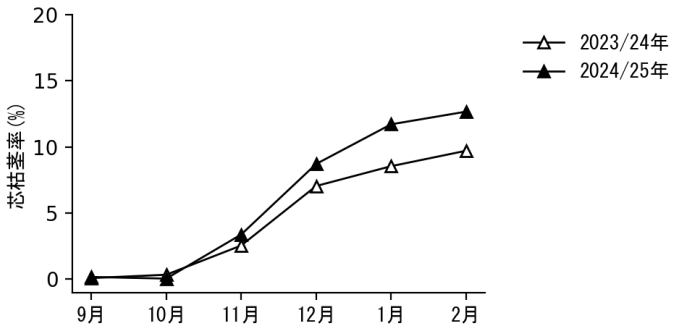
調査結果

芯枯茎率の推移(夏植え)

＜今期と平年＞




＜過去２年＞




・発生種：カンシャシンクイハマキ（55%）、イネヨトウ（45%）

・発生ほ場率91.7%（平年：93.2%）

防除のポイント

・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。

・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。

・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。

・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

・茎葉への乳剤等の散布は、葉鞘と茎のすき間に十分な薬液が入るように丁寧に行う。